

(6) その他の調査成績

ア ヒメトビウンカ

(ア) 調査目的

ヒメトビウンカの越冬世代ならびに第1世代の発生状況を明らかにし、縞葉枯病の防除対策の参考に資する。

(イ) 調査方法

a 越冬世代調査：2008年(平成20年)3月6日～21日に動力散粉機を用い、吹き出し法により10m²当りの生息数を調査した。

b 第1世代調査：2008年(平成20年)5月8日～30日に捕虫網を用いて20回すくい取りを行い生息数を調査した。

(ウ) 調査結果

第1表 ヒメトビウンカの越冬状況

調 査 地 点 名	採 集 日	調 査 植 物	齢別構成 (%)			
			幼 虫			成 虫
			若 齢	中 齢	老 齢	
長崎市琴海戸根町	3/13	スズメノテッポウ	0.3	10.1	72.4	17.2
長崎市外海大中尾町	3/13	スズメノテッポウ	0.0	13.3	58.3	28.3
西海市大瀬戸町多以良	3/13	スズメノテッポウ	0.4	50.0	46.5	3.1
西海市大瀬戸町雪ノ浦	3/13	スズメノテッポウ	0.0	17.9	61.2	20.9
諫早市多良見町	3/18	スズメノテッポウ	0.0	5.0	46.2	48.8
諫早市小船越	3/21	スズメノテッポウ	0.0	3.9	15.7	80.4
諫早市小野	3/18	スズメノテッポウ	0.0	12.3	46.7	41.1
諫早市森山	3/18	スズメノテッポウ	0.0	5.7	49.7	44.7
雲仙市国見町神代	3/21	スズメノテッポウ	0.0	15.3	35.7	49.0
雲仙市吾妻町干拓	3/21	スズメノテッポウ	0.8	33.1	43.8	22.3
大村市鈴田	3/18	スズメノテッポウ	4.7	19.1	36.5	39.7
東彼杵町三根	3/18	スズメノテッポウ	6.2	25.5	38.5	29.8
佐世保市長畑	3/7	スズメノテッポウ	5.4	23.0	55.9	15.6
佐世保市早岐	3/7	スズメノテッポウ	1.9	35.0	51.6	11.5
松浦市志佐	3/6	スズメノテッポウ	0.0	58.6	41.4	0.0
平戸市紐差	3/6	スズメノテッポウ	0	62.3	35.1	2.6
平均			1.5	24.4	42.9	31.3

第2表 ヒメトビウンカ（第1世代）の発生状況

調 査 地 点 名	採 集 日	調 査 植 物	齢別構成 (%)			
			幼 虫			成 虫
			若 齢	中 齢	老 齢	
長崎市琴海町戸根	5/16	スズメノテッポウ	39.1	35.9	25.0	0.0
長崎市外海	5/16	スズメノテッポウ	34.1	56.9	8.1	0.8
西海市大瀬戸	5/16	スズメノテッポウ	0.0	0.0	60.0	40.0
諫早市小野	5/26	スズメノテッポウ	11.0	57.0	31.1	0.9
諫早市森山	5/20	小麦	16.3	64.9	9.1	0.1
多良見町大草	5/16	エノコログサ他	64.0	26.5	7.4	2.1
諫早市小船越	5/26	小麦	9.1	37.0	52.7	1.3
大村市鈴田	5/22	スズメノテッポウ	28.9	57.8	11.0	2.3
東彼杵町三根	5/22	スズメノテッポウ	21.7	63.6	11.2	3.5
波佐見	5/29	スズメノテッポウ	14.7	74.5	31.1	1.5
雲仙市国見町神代	5/20	小麦、スズメノテッポウ	20.2	62.4	16.5	0.9
佐世保市長畑	5/8	スズメノテッポウ	33.5	52.2	14.4	0.0
佐世保市重尾	5/8	スズメノテッポウ	0.0	0.0	0.0	0.0
松浦市御厨町	5/7	スズメノテッポウ	52.9	37.1	10.0	0.0
平戸市紐差	5/7	小麦、イネ科雑草	36.4	56.8	6.8	0.0
五島市本山	5/9	小麦、スズメノテッポウ	0.0	0.0	0.0	100.0
五島市富江	5/9	スズメノテッポウ	0.0	0.0	0.0	0.0
壱岐市郷ノ浦大原	5/30	小麦	0.0	0.0	66.7	33.3
壱岐市石田	5/30	イタリアン	0.0	0.0	0.0	100.0
平均			22.6	55.5	20.5	1.4

第3表 ヒメトビウンカ（第1世代）の生息密度の推移

調査年度	H15	H16	H17	H18	H19	平年
生息密度（頭）	8.1	10.6	8.3	15.5	8.1	11.0

注）平年値は平成10～19年の平均値（最大・最小値除く）

イ ツマグロヨコバイ

（ア）調査目的

ツマグロヨコバイの第1世代の発生状況を明らかにし、イネ萎縮病の防除対策の参考に資する。

（イ）調査方法

第1世代調査：2008年(平成19年)5月21日、23日に捕虫網を用いて20回すくい取りを行い生息数を調査した。

(ウ) 調査結果

第4表 ツマグロヨコバイ（第1世代）の発生状況

調査地点名	調査日	寄主植物	齢別構成 (%)			
			若齢	幼虫 中齢	老齢	成虫
諫早市小船越	H20.5.23	スズメノテッポウ	50.0	32.6	17.4	0.0
諫早市小野	H20.5.21	エノコログサ他	48.7	36.1	13.4	1.7
諫早市森山	H20.5.21	スズメノテッポウ他	64.5	27.6	7.9	0.0
吾妻町干拓	H20.5.21	スズメノテッポウ	72.9	20.8	4.2	2.1
平均			57.1	30.8	11.1	1.0

第5表 ツマグロヨコバイ（第1世代）の生息密度の推移

調査年度	H15	H16	H17	H18	H19	平年
生息密度（頭）	9.9	14.8	8.4	13.6	35.5	12.8

注）平年値は平成10～19年の平均値（最大・最小値除く）